

スノー 雪フェスタ つがるの冬を満喫

つがるの冬を楽しむイベント「2025つがる市雪（スノー）フェスタin地球村」（つがる地球村主催）がつがる地球村国際交流広場で開催されました。

20メートルの氷の滑り台では、子どもたちが歓声を上げながら何度も滑り降り、ポニーの馬そり体験や棒パンづくりコーナーでは家族連れが楽しむ姿が見られました。

また、にんにく塩こうじを使った振る舞い鍋には長蛇の列ができたほか、キッチンカーや出店では、地元の特産品やスイーツなどが並べられ、来場者は目当てのものを買って求めていました。

イベントの最後には、節分にちなんで鬼に扮したつがるちゃんが登場し、子どもたちは「鬼は外！福は内！」と大きな掛け声で豆まきを楽しんでいました。



2/2
つがる地球村

つがるちゃんと豆まきを楽しむ子どもたち

工夫と知恵の力作ずらり ぐらしの工夫展



2/7
松の館

来場者へ昔の花嫁衣装を紹介する参加者たち

第39回つがる市ぐらしの工夫展が開催されました。

展示コーナーには、市の農林水産物を使った次世代に伝えたい伝承料理や農作業衣、稲わら工芸品、絵画など多彩な作品が陳列。このほか、地元農産加工品の販売コーナーなども設けられ、開催を心待ちにしていた人たちでにぎわいました。また、「森田むらお」さんによる津軽弁を話しながらのマジックショーや、主催グループの女性たちによる昔の花嫁衣装紹介も行われ、来場者からは大きな拍手と歓声があがっていました。

主催の市生活改善グループ連絡協議会の中村嘉子会長は「この伝統をつないでいって、皆さんが集まって笑ってもらえる催しにしたい」と話しました。

東北大会での健闘を誓う

8月から9月にかけて3日間開催された「第17回南部町長杯争奪U-12サッカー大会兼東北さわやか少年少女サッカーフェスティバル大会青森予選会」に出場した西北五トレセンが優勝し、2月15日から開催される東北大会への切符を手にしました。

この日、選手ら7人が市役所を訪れ、大会の結果や今後の抱負について話しました。

森田小6年の盛和希選手は「東北大会では、保護者への感謝の気持ちを忘れず、自分たちが満足する結果を出せるように頑張りたい」と抱負を語りました。

今副市長は「東北大会はレベルが高いですが、思いきりプレーを楽しんで頑張ってください」と激励しました。



2/7
市役所

健闘を誓う西北五トレセンの選手たち

オリビアからの ラストメッセージ



市国際交流員のオリビア・スナイダーさんが任期を終え、つがる市を離れることになりました。オリビアさんは、市の国際交流や国際化のために幅広く活躍されました。国際交流員として活動した3年間の思い出や、つがる市での生活、皆さまへのメッセージなどを紹介します。

3年間を振り返って

つがる市に初めて来たのは2021年の11月でした。来日して間もなく雪が降り始め、毎日雪かきに苦労していました。周りの人たちが話している津軽弁の方言も中々頭に入って来なく、「とんでもない場所に来てしまった」と思った瞬間もありました。しかし、職場の同僚は私を温かく受け入れてくださり、親切な担当者たちは分からないことが多い私に何でも丁寧に説明してくれました。大変な冬の真っ最中に来て、少し時間が経つうちにこの地域にだんだん慣れてきていました。つがる市にはおいしい食べ物、自然、祭りなど、自慢できる魅力はたくさんありますが、いつも一番に思い浮かぶ特徴は市民の優しさと好奇心です。新しい食堂や居酒屋に行けば、必ず誰かが声をかけてくれました。「どこ出身なの?」「雪に困ってない?」など、シンプルな質問から、交流の機会と友情が誕生しました。

一つの場所に3年間も過ごせば、「地元」感がなんだか湧いてきます。いつも窓から手を振ってくれるお隣さんの子どもたちや、お気に入りの焼き鳥居酒屋に着いた時のいい匂い、毎日きっちり12時に市内に流れる音楽（そしてそれに起こされる寝坊した日…）。ケーキ屋の店員さんの笑顔、木造駅で目を光らせるしゃこちゃん。見知らぬ土地だったつがる市は、いつの間にか「居場所」のように感じてきました。ここにいられなくなると思えばやっぱり寂しくなります。

昨年は結婚式も挙げ、つがる市では初めての一人暮らしなど、さまざまな人生のマイルストーンを超えてきました。ここで過ごした時間は一生忘れません。アメリカに帰っても、仲良くなった方たちと交流を続けたいと思います。日本には親戚もいるので、またいつかきっと夫と二人でつがる市に遊びに来ます。私の次に来る国際交流員の方も、どうぞよろしく願いいたします。

つがる市の皆さん、この3年間大変お世話になりました。



思い出ギャラリー



- ① 国際交流フェアでつがるちゃん
- ② つがる市訪問団とアメリカメーン州議事堂で
- ③ バス市訪問団とメロン収穫体験
- ④ 岩木山登山経験(計4回!)
- ⑤ こども園等で園児たちと国際ふれあい事業

